



# シラバス SYLLABUS

2026  
(令和8年度)

歯科衛生学科  
第3学年

日本歯科大学新潟短期大学  
The Nippon Dental University College at Niigata

## 令和8（2026）年度 第3学年 シラバス目次

シラバスの活用方法 .....	2
歯科衛生学科授業科目一覧 .....	4
教育の理念等 .....	5
年間教務予定表 .....	6
授業時間表 .....	7
<b>【前学期】</b>	
歯科保健指導演習Ⅲ .....	8
歯科衛生過程論Ⅱ .....	11
病院実習・臨地実習Ⅱ .....	13
医療保険事務Ⅱ .....	15
ケアコミュニケーション技法Ⅱ .....	18
歯科衛生研究概論 .....	21
<b>【後学期】</b>	
総合講義Ⅲ（専門基礎分野） .....	24
総合講義Ⅳ（専門基礎分野） .....	26
総合講義Ⅲ（専門分野） .....	28
総合講義Ⅳ（専門分野） .....	31

## シラバスの活用方法

本シラバスは毎日必ず携行し、授業の前後に記載内容を確認しながら、能動的に学習を進めてください。

各授業科目における記載項目、内容およびそれらの活用方法は以下の通りです。

### 【記載項目】

#### ◆授業形態

講義・演習・実習

#### ◆授業責任者

授業科目の責任者

#### ◆学期

前期・後期・通年

#### ◆授業概要

授業の概要を記載しています。初回の授業前には必ず確認しましょう。

#### ◆一般目標 (General Instructional Objective:GIO)

学習することにより得られる成果を総合的に示したもので、授業科目を終了した時点で達成されるべき目標です。

#### ◆学習成果

授業を通して得られる成果が、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーのどの部分に該当するのかを記載しています。

#### ◆教科書・参考書

授業において使用する教科書・参考書および教員推薦の図書などを記載しています。授業中だけでなく予習・復習などの自己学習を充実するために、教科書だけでなく、参考書も積極的に利用しましょう。

#### ◆アクティブラーニング

学生の能動的な学修への参加を取り入れた学習法の総称。

PBL (Project Based Learning)：テーマに沿ったプロジェクト又は特定の問題を提示し、それらの問題解決を通して、様々な知識・スキルを学ばせる方法。

ディベート：明確なルールに基づいて、肯定派と否定派に分かれて議論する方法。

ディスカッション：決められたテーマに対して自由に意見を交わす方法。

フィールドワーク：学内外のフィールドに赴き、調査や観察を通して情報収集を行う方法。(学外施設等の見学を含む。)

プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で発表を行う方法。

#### ◆成績評価の方法

各授業科目における評価方法を記載しています。

複数の評価方法がある場合には、比率を明示していますので予め確認しておきましょう。

目標への到達度は、知識については定期試験における論述試験や客観試験で、臨床実習・臨地実習については、学習の成果を評価します。

#### ◆オフィスアワー

授業科目責任者や授業担当者の連絡方法を記載しています。

授業内容に関する質問や学習方法に関する相談などを行う際に利用してください。

#### ◆授業担当者

授業日ごとの授業担当者を記載しています。

#### ◆授業内容

授業のテーマ、授業の内容を記載しています。

#### ◆行動目標 (Specific Behavioral Objectives:SBOs)

SBOsはGIOを達成するために必要な具体的・観察可能な行動を示しています。授業の進行に応じて到達度を確認するときに利用しましょう。

講義科目については、試験前にも必ず確認してみましょう。

#### ◆準備学習 (予習・復習)

1単位は45時間の学習に相当します。

講義の場合は、受講15時間と予習・復習30時間、演習の場合は、受講30時間と予習・復習15時間、実習の場合は、受講45時間となっています。

本欄に記載されている担当教員からの指示にしたがって、予習・復習を実施しましょう。

#### ◆単位数

各授業科目の単位数は、次の基準により計算しています。ただし、1時間は40分としています。

①講義については、15時間の授業をもって1単位とします。

②演習（語学を含む）については、30時間の授業をもって1単位とします。

③実習については、45時間の授業をもって1単位とします。

④教育上必要があるときは、講義及び演習については15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、実験・実習及び実技については30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、それぞれ1単位とすることがあります。

歯科衛生学科授業科目一覧（新カリキュラム：R5.4.1以降入学者対象）

科目名		単位数
<b>基礎分野</b>		
1	英語Ⅰ 演	2
2	英語Ⅱ 演	2
3	生物学 講	1
4	接遇・コミュニケーション技法 演	1
5	国語表現 講	2
6	医療心理学 講	2
7	情報リテラシー 演	1
<b>小 計</b>		<b>11</b>
<b>専門基礎分野</b>		
8	人体の構造と機能Ⅰ 講	2
9	人体の構造と機能Ⅱ 講	2
10	口腔解剖学実習 実	1
11	口腔の構造と機能Ⅰ 講	2
12	口腔の構造と機能Ⅱ 講	2
13	病理学 講	1
14	口腔病理学 講	1
15	微生物学 講	2
16	薬理学 講	2
17	口腔衛生学・衛生統計学 講	2
18	公衆衛生学 講	2
19	衛生行政・社会福祉 講	2
20	リハビリテーション論 講	1
21	総合講義Ⅰ（専門基礎分野） 講	1
22	総合講義Ⅱ（専門基礎分野） 講	1
23	総合講義Ⅲ（専門基礎分野） 講	1
24	総合講義Ⅳ（専門基礎分野） 講	1
<b>小 計</b>		<b>26</b>
<b>専門分野</b>		
25	歯科衛生士概論（含医療倫理） 講	1
26	キャリア教育Ⅰ 講	0.5
27	キャリア教育Ⅱ 講	0.5
28	臨床歯科医学Ⅰ総論A（歯科放射線学） 講	0.5
29	臨床歯科医学Ⅰ総論B（臨床検査学） 講	0.5
30	臨床歯科医学Ⅱ基礎（歯科保存学・歯周治療学） 講	1
31	臨床歯科医学Ⅱ応用（歯科保存学・歯周治療学） 講	1
32	臨床歯科医学Ⅲ（歯科補綴学） 演	1
33	臨床歯科医学Ⅳ（口腔外科学・歯科麻酔学） 演	1
34	臨床歯科医学Ⅴ（矯正歯科学） 演	1
35	臨床歯科医学Ⅵ（小児歯科学） 演	1
36	臨床歯科医学Ⅶ（高齢者歯科学） 演	0.5

科目名		単位数
37	臨床歯科医学Ⅷ（障害者歯科学） 演	0.5
38	早期体験演習 演	1
39	歯科予防処置論 講	2
40	歯科予防処置演習Ⅰ 演	1
41	歯科予防処置演習Ⅱ 演	2
42	歯科予防処置演習Ⅲ 演	2
43	歯科予防処置演習Ⅳ 演	1
44	歯科保健指導論Ⅰ 講	2
45	歯科保健指導論Ⅱ 講	2
46	歯科保健指導演習Ⅰ 演	1
47	歯科保健指導演習Ⅱ 演	1
48	歯科保健指導演習Ⅲ 演	1
49	歯科衛生過程論Ⅰ 講	1
50	歯科衛生過程論Ⅱ 講	1
51	歯科診療補助論 講	1
52	歯科材料学 講	1
53	歯科診療補助演習Ⅰ 演	1
54	歯科診療補助演習Ⅱ 演	2
55	歯科診療補助演習Ⅲ 演	2
56	歯科診療補助演習Ⅳ 演	1
57	看護学概論 講	1
58	病院実習・臨地実習Ⅰ 実	10
59	病院実習・臨地実習Ⅱ 実	10
60	総合講義Ⅰ（専門分野） 講	1
61	総合講義Ⅱ（専門分野） 講	1
62	総合講義Ⅲ（専門分野） 講	1
63	総合講義Ⅳ（専門分野） 講	1
<b>小 計</b>		<b>61</b>
<b>選択必修分野</b>		
64	専門歯科治療概論 講	2
65	健康文化論 講	1
66	プレゼンテーション技能 講	2
67	手話 講	2
68	医療保険事務Ⅰ 講	1.5
69	医療保険事務Ⅱ 講	1.5
70	ケアコミュニケーション技法Ⅰ 講	1.5
71	ケアコミュニケーション技法Ⅱ 講	1.5
72	歯科衛生研究概論 講	2
<b>小 計</b>		<b>15</b>
<b>合 計</b>		<b>113</b>

## 教育の理念等

### 教育の理念

本学学則には、その目的を「本学は、学校教育法の精神に基づき、歯科衛生及び歯科技工に関する専門の知識と技術を教授研究し、高度な歯科衛生士及び歯科技工士の育成を図ることを目的とする」と規定している。この目的を体して、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成する。

### 教育の目的

教育の理念を具現するために、一般教養と基礎医学及び臨床に関する最新の講義と実習を行い修得させる。これにより、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成し口腔保健衛生、歯科技工の向上に寄与し、保健・医療・福祉に貢献することを目的とする。

### 教育の目標

1. 地域医療に貢献できる歯科衛生士を育成する。
2. 健康増進と疾病の予防に貢献できる歯科衛生士を育成する。
3. 自らの健康を守り、豊かな人間性を持った歯科衛生士を育成する。
4. 幅広い教養と倫理観を持った歯科衛生士を育成する。
5. 社会のニーズに対応し、自己研鑽できる歯科衛生士を育成する。
6. 多職種の中での役割を理解し、協働連携できる歯科衛生士を育成する。
7. 問題を発見し解決する能力を持った歯科衛生士を育成する。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、歯科衛生士国家試験受験資格を取得できます。

1. 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
2. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
3. 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
4. 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
5. 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学は、教育の理念に基づいた人材育成のために、教養科目および専門基礎・臨床の均整のとれた科目を構築し、以下の方針で教育を行います。

1. 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
2. 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
3. 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
4. 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
5. 国家資格取得を支援するための教育を行う。

## 令和8年度 歯科衛生学科 年間教務予定表

月	日	曜	事 項
4	1	水	春期休業 2年・3年(～3日(金))
	3	金	2年・3年オリエンテーション
	6	月	入学式 2年・3年前学期授業開始
	7	火	1年オリエンテーション(～8日(水)2日間) 3年実力判定試験①
	9	木	1年前学期授業開始
	25	土	クラブ活動週間(～5月6日(水)まで休講)
5	20	水	学生交流会(休講)
6	1	月	創立記念日
	中旬		定期健康診断 浜浦祭(学生会主催)
7	27	月	2年OSCE
	28	火	1年夏期休業開始(8月31日(月)まで) 2年実力判定試験①
	29	水	2年夏期休業開始(8月31日(月)まで)
8	1	土	3年夏期休業開始(～31日(月), 成績下位者補講)
9	1	火	1年・2年・3年前学期授業再開
	9	水	1年・2年前学期授業終了
	10	木	1年・2年前学期定期試験開始
	15	火	3年実力判定試験④
	下旬		2年登院前特別実習(～30日(水)) 1年・2年後学期オリエンテーション
10	1	木	1年後学期授業開始 2年登院式・登院オリエンテーション 3年秋期休業開始(～4日(日))
	2	金	2年病院実習開始(登院)
	5	月	3年総合試験①
	7	水	3年後学期授業開始
12	15	火	2年実力判定試験②
	25	金	1年冬期休業開始(～1月11日(月)) 2年冬期休業開始(～1月5日(火))
	26	土	3年冬期休業開始(～1月5日(火))
1	6	水	2年後学期授業再開
	7	木	3年総合試験②
	12	火	1年後学期授業再開
2	3	水	1年後学期授業終了
	5	金	3年卒業試験
	8	月	1年後学期定期試験開始
	17	水	歯科保健研究会
	24	水	2年総合試験
	25	木	1年総合試験
3	上旬		第36回歯科衛生士国家試験
	中旬		第42回卒業式

**新潟短期大学 歯科衛生学科**  
**令和8（2026）年度 第3学年 授業時間表**

前学期	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
	9：00～10：20	10：40～12：00	13：00～14：20	14：40～16：00	16：20～17：40
月	病院実習・臨床実習Ⅱ（17：00）〔含歯科衛生過程論Ⅱ〕				
火	歯科保健指導演習Ⅲ 煤賀		歯科衛生過程論Ⅱ 藤田		
水	医療保険事務Ⅱ（選択） 高田		歯科衛生研究概論 （選択） 今井	補講／特別講義／ 自己学習	
	ケアコミュニケーション技法Ⅱ （選択） 宮崎				
木	病院実習・臨床実習Ⅰ（17：00）				
金	病院実習・臨床実習Ⅰ（17：00）				

科目名	10月上旬	11月中旬	1 月	2 月
	11月中旬	12月下旬		
歯科麻酔学	○		○	○
歯科矯正学	○		○	○
薬理学	○		○	○
病理学	○		○	○
高齢者歯科学	○		○	○
栄養・生化学	○		○	○
歯科補綴学	○		○	○
歯科材料学	○		○	○
解剖学	○		○	○
組織学・口腔組織学	○ (1回)		○ (1回)	
歯科予防処置論 (う蝕・歯周含む)	○		○ (う蝕・歯周各1回)	○ (う蝕・歯周各1回)
歯周治療学	○		○	○
臨床検査学		○	○	○
歯科放射線学		○	○	○
小児歯科学		○	○	○
微生物学		○	○	○
口腔解剖学		○	○	○
障害者歯科学		○	○	○
口腔外科学		○	○	○
生理学・口腔生理学		○	○	○
歯科診療補助論	○		○	○
歯科衛生概論 (医療倫理含む)		○ (総論・医療倫理各1回)		
口腔衛生学	○	○	○	○
歯科保健指導論 (口腔機能管理含む)	○	○	○	○
公衆衛生学	○	○	○	○
保存（歯内・修復）	○	○	○ (歯内・修復各1回)	○ (歯内・修復各1回)

注) 詳細日程は、共有カレンダーを参照ください。

**授業科目名**

歯科保健指導演習Ⅲ

**授業形態**

演習

**授業責任者**

◎煤賀 美緒

**学年 学期 曜日**

第3学年 前期 火曜日

**授業時間**

9:00～12:00

**授業概要**

歯科衛生士の臨床経験を有する授業担当者の指導により、保育園・幼稚園の場における、年少～年長の園児集団(20名程度)を対象にした実践的な健康教育のスキルを修得する。そのために指導計画書や媒体づくり、グループ内での練習等を行う。予習・復習時間として、授業時間外でも各自準備を進めることが必須である。

**一般目標(GIO)**

保育園・幼稚園に入園する幼児へ健康教育を行うために、対象の年齢に合わせた集団指導の知識、技術、態度を修得する。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 (医歯薬出版)

**参考書**

歯科衛生学シリーズ 小児歯科 (医歯薬出版)

**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験( %)  提出物(ノート・レポート)( %)
- ポートフォリオ( 50 % )  成果発表(口頭・実技)( 50 % )
- その他( )( %)

毎回の授業が終わるごとに、進捗状況および次回の課題を記録するポートフォリオ(50%)と媒体の出来栄を含めた現地指導(50%)によって評価する。現地指導は、欠席等による日程変更等には応じない。

**オフィスアワー**

月～金曜日 16:00～18:00 (3号館2階 研究室Ⅱ) 連絡先: mio@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 ／	◎煤賀美緒 (衛)	授業概要 指導計画書作成	1. 歯科衛生教育活動における歯科衛生士の役割を説明する。 2. 幼児の口腔保健の特徴を列挙する。 3. 対象集団に応じた指導計画書を立案する。 専門D-3-4)-①、専門D-7-1)-①～⑥
	準備学習	地域歯科保健活動および幼児期について要復習のうえ参加すること。	
第2回 ／	◎煤賀美緒 (衛)	媒体	1. 対象者に適した媒体を選択する。 2. 指導内容に適した媒体を選択する。 3. 媒体を手作りする。 専門D-7-1)-③⑤⑥
	準備学習	第3回以降予行練習に移行できるよう、授業時間外でも媒体づくりを進めること。	
第3回 ／	◎煤賀 美緒 (衛) ◎清野可那子 (衛) ◎宮崎 晶子 (衛)	指導の前準備 (1)	1. 指導時間を分配する。 2. 明確に役割を分担する。 3. 園児に分かりやすい言葉で話す。 4. 効果的な媒体の使用方法を工夫する。 5. 園児の反応を想定する。 専門D-7-1)-③⑤⑥
	準備学習	授業時間外でも媒体づくりおよびグループでの自主練習を進めること 必要に応じてインストラクターをアポイントを取ること。	
第4回 ／	◎煤賀 美緒 (衛) ◎清野可那子 (衛) ◎宮崎 晶子 (衛)	指導の前準備 (2)	1. 指導時間を分配する。 2. 明確に役割を分担する。 3. 園児に分かりやすい言葉で話す。 4. 効果的な媒体の使用方法を工夫する。 5. 園児の反応を想定する。 専門D-7-1)-③⑤⑥
	準備学習	授業時間外でも媒体づくりおよびグループでの自主練習を進めること 必要に応じてインストラクターをアポイントを取ること。	
第5回 ／	◎煤賀 美緒 (衛) ◎清野可那子 (衛) ◎宮崎 晶子 (衛)	指導の前準備 (3)	1. 指導時間を分配する。 2. 明確に役割を分担する。 3. 園児に分かりやすい言葉で話す。 4. 効果的な媒体の使用方法を工夫する。 5. 園児の反応を想定する。 専門D-7-1)-③⑤⑥
	準備学習	授業時間外でも媒体づくりおよびグループでの自主練習を進めること 必要に応じてインストラクターとアポイントを取ること。	
第6回 ／	◎煤賀 美緒 (衛) ◎清野可那子 (衛) ◎宮崎 晶子 (衛)	リハーサル	1. 模擬対象者の前で歯科衛生教育を実施する。 2. 改善点を見つける。 専門D-3-4)-②、7-2)-⑥
	準備学習	リハーサルまでに媒体の使用方も含め、十分な自己学習を重ねること。	
第7回 ／	◎煤賀 美緒 (衛) ◎清野可那子 (衛) ◎宮崎 晶子 (衛)	見直し	1. 改善点をもとに指導内容を修正する。 2. 指導時間を分配する。 3. 明確に役割を分担する。 4. 園児に分かりやすい言葉で話す。 5. 効果的な媒体の使用方法を工夫する。 6. 園児の反応を想定する。 専門D-3-4)-②、7-2)-⑥
	準備学習	現地指導までに授業時間外も利用して媒体追加・修正、指導案修正、グループ練習を重ねること。	

第8回 ／	◎煤賀 美緒(衛) ◎清野可那子(衛) ◎宮崎 晶子(衛)	園児に対する 健康教育の実践(1)	1. 現地(保育園、幼稚園)で対象に合わせた歯科衛生教育を実践する。 2. 対象者の反応に合わせて指導を進める。 3. 効果的に媒体を使用する。 専門D-3-4)-②、7-2)-⑥
	準備学習	現地指導本番までに担当インストラクターとアポイントをとり最終確認をしてもらうこと。	
第9回 ／	◎煤賀 美緒(衛) ◎清野可那子(衛) ◎宮崎 晶子(衛)	園児に対する 健康教育の実践(2)	1. 現地(保育園、幼稚園)で対象に合わせた歯科衛生教育を実践する。 2. 対象者の反応に合わせて指導を進める。 3. 効果的に媒体を使用する。 専門D-3-4)-②、7-2)-⑥
	準備学習	現地指導本番までに担当インストラクターとアポイントをとり最終確認をしてもらうこと。	
第10回 ／	◎煤賀 美緒(衛) ◎清野可那子(衛) ◎宮崎 晶子(衛)	園児に対する 健康教育の実践(3)	1. 現地(保育園、幼稚園)で対象に合わせた歯科衛生教育を実践する。 2. 対象者の反応に合わせて指導を進める。 3. 効果的に媒体を使用する。 専門D-3-4)-②、7-2)-⑥
	準備学習	現地指導本番までに担当インストラクターとアポイントをとり最終確認をしてもらうこと。	

**授業科目名**

歯科衛生過程論Ⅱ

**授業形態**

講義

**授業責任者**

◎藤田 浩美

**学年 学期 曜日**

第3学年 前期 火曜日

**授業時間**

13:00～16:00

**授業概要**

歯科衛生士の臨床経験を有する授業担当者の指導により、歯科衛生過程の理論を学習し演習することで臨床に応用できる力を修得する。

**一般目標(GIO)**

臨床において歯科衛生過程を活用し歯科衛生を実践するために科学的・論理的・実地的な歯科衛生過程の基礎知識・実践能力を修得する。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨床実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版

**参考書**

よくわかる歯科衛生過程 医歯薬出版

**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験( 50 %)  提出物(ノート・レポート)( 40 %)
- ポートフォリオ( % )  成果発表(口頭・実技)( 10 %)
- その他( ) ( % )

一般目標で示した項目についての筆記試験と、グループ学習の成果発表(口頭)、提出物(ノート・レポート)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

月～金曜日・16:00～17:00・3号館2階 研究室 3 ※事前にメールで要予約 ※質問等は授業終了後またはメールで連絡可  
e-mail: fussa@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 /	◎藤田浩美 (衛)	問題指向型システム (POS) による記録の意義と方式	1. POSによる記録の意義と方式を説明できる。 専門A-2-1)-①～⑧ 2. SOAP型記録およびその他の記録方法についてそれらの意義と方式を説明できる。 専門A-2-1)-⑧
	準備学習	テキストⅢ編1章を読み歯科衛生過程をイメージする。	
第2回 /	◎藤田浩美 (衛)	看図アプローチ	1. 共同して事象を系統的・論理的に分析できる。 専門A-2-1)-①～⑤ 2. グループワークの成果を効果的に発表できる。 基礎A-4-①～⑤
	準備学習	グループワークに積極的に参加し協同して取り組む心構えをもつ。	
第3回 /	◎藤田浩美 (衛)	POS模擬演習①	1. データ収集, 分類・整理, 分析, 問題抽出を共同して実施できる。 専門D-1-3)-② 2. グループワークの成果を効果的に発表できる。 基礎A-4-①～⑤
	準備学習	第1回授業内容を復習しグループワークに備える。	
第4回 /	◎藤田浩美 (衛)	POS模擬演習②	1. 介入計画を共同して作成できる。 専門D-1-3)-③ 2. グループワークの成果を効果的に成果を発表できる。 基礎A-4-①～⑤
	準備学習	第3回授業におけるグループワークの成果を振り返る。	
第5回 /	◎藤田浩美 (衛)	NANDA-I看護診断	1. NANDA-I看護診断の概要を説明できる。 専門D-1-3)-②③⑦
	準備学習	テキストⅢ編1章を読み歯科衛生診断の概要を理解する。	
第6回 /	◎藤田浩美 (衛)	看護成果 (NOC) 看護介入 (NIC) 評定尺度法, 臨床推論	1. NANDA-I看護診断から介入計画を立案し, 評価する方式について概要を説明できる。 専門D-1-3)-②③⑦
	準備学習	第5回授業内容を復習する。	
第7回 /	◎藤田浩美 (衛)	歯科衛生過程演習①	1. 模擬症例の介入計画を共同して作成できる。 専門D-1-3)-②③⑦, D-2-2)～4), D-3～5 2. 模擬症例の介入計画について他者 (対象者, その家族, 他職種等) が理解できるように表現して発表できる。 基礎A-4-①～⑤
	準備学習	テキストⅢ編2章を読み歯科衛生過程の工程をイメージする。	
第8回 /	◎藤田浩美 (衛)	歯科衛生過程演習②	1. 模擬症例の介入計画を共同して作成できる。 専門D-1-3)-②③⑦, D-2-2)～4), D-3～5 2. 模擬症例の介入計画について他者 (対象者, その家族, 他職種等) が理解できるように表現して発表できる。 基礎A-4-①～⑤
	準備学習	第7回授業におけるグループワークの作業上の課題を抽出し改善策を考える。	

**授業科目名**

病院実習・臨地実習Ⅱ
------------

**授業形態**

実習
----

**授業責任者**

◎池田 裕子
--------

**学年 学期 曜日**

第3学年	前期	月・木・金曜日
------	----	---------

**授業時間**

8:30～17:00
------------

**授業概要**

本科目の目的は、今まで教授された講義・実習を基に患者の歯科診療を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につけることにある。日本歯科大学新潟病院において臨床経験が豊富な歯科医師、歯科衛生士、診療放射線技師の指導の下、1年間の実習を実施する。

**一般目標(GIO)**

今日まで教授された講義・実習、さらに第2学年後学期より実施している病院実習を通じて、歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身につけるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

--

**参考書**

--

**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL                       ディベート                       ディスカッション  
 フィールドワーク                       プレゼンテーション  
 その他(        )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験(    % )                       提出物(ノート・レポート)(    % )  
 ポートフォリオ(    % )                       成果発表(口頭・実技)(    % )  
 その他(        )(    % )

成績評価の方法と割合についてはDHCSL参照。

**オフィスアワー**

DHCSLに記載されている、各現場の指導者のアポイントをとること。

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月～9月	◎指導歯科衛生士 ◎指導歯科医師 ◎指導放射線技師	DHCSL 参照	
	準備学習	DHCSL 参照	

**授業科目名**

医療保険事務Ⅱ

**授業形態**

講義

**授業責任者**

高田 正典

**学年 学期 曜日**

第3学年 後期 水曜日

**授業時間**

9:00～10:20・10:40～12:00

**授業概要**

医療事務は、患者対応から医療費請求まで、専門スキルで医療に貢献する幅の広い職種。歯科医師と診療報酬明細書点検の臨床経験を有する授業担当者の指導により、実践的な窓口対応、診療報酬明細書点検のスキルを修得する。

**一般目標(GIO)**

学習者は、医療事務業務に従事するため、(財)日本医療教育財団の2級医療事務技能審査試験取得のために必要な基本的知識・態度・技能を身につける。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援するための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

日本医療教育財団 医療事務講座①②③④、スタディブック、テキストブック 2024版 2022版 編集・発行 株式会社ニチイ学館、プリント

**参考書**

例一般財団法人 日本医療教育財団 医療事務技能審査試験 受験対策問題集(歯科) 2024版 編集・発行口

**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験(70%)  提出物(ノート・レポート)(10%)
- ポートフォリオ(%)  成果発表(口頭・実技)(%)
- その他(小試験)(20%)

一般目標で示した項目についてのマークシート式試験(70%)と、定期的な講義の際の小テストを含めた授業に対する理解度(20%)により評価を行う。知識の習得度などや疑問に思う点などについて、レポート提出(10%)により、理解度を確認し、講義に反映させていただきます。

**オフィスアワー**

水曜日・17:00～18:00・病院1階訪問口腔ケア科研究室 ※事前にメールで要予約(メールアドレス: mtakada@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 /	高田 正典	症例による診療報酬点数算定を理解する (1)。	1.初期う蝕の治療と点数算定を説明する。 2.歯髄炎の治療と点数算定を説明する。
	準備学習	例：テキスト第2章 (1～2) の要点確認	
第2回 /	高田 正典	症例による診療報酬点数算定を理解する (2)。	感染根管治療と点数算定を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	
第3回 /	高田 正典	医療事務講座テキスト3の要点確認	
	準備学習	医療事務講座テキスト3の要点確認	
第4回 /	高田 正典	症例による診療報酬点数算定を理解する (7) (8)。	欠損補綴治療 (義歯) を説明する。 欠損補綴治療 (ブリッジ) の点数算定を説明する。
	準備学習	医療事務講座スタディブックの要点確認	
第5回 /	高田 正典	医療事務試験対策の概要を理解する (1)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第6回 /	高田 正典	医療事務試験対策の概要を理解する (2)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第7回 /	高田 正典	医療事務試験対策の概要を理解する (3)。	1.医療事務概論を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第8回 /	高田 正典	歯周病の治療の流れの概要を理解する (1)	1.歯周治療の基本的概念を説明する。 2.歯周治療の算定の流れを説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第9回 /	高塩智子	歯周病の治療の流れの概要を理解する (2)	1.歯周治療の長期的な流れを説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第10回 /	水橋 亮	補綴治療 (義歯) の治療の流れの概要を理解する (1)	1.有床義歯の基本算定を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第11回 /	高田 正典	補綴治療 (義歯) の治療の流れの概要を理解する (2)	1.有床義歯のレセプト点検を説明する。 2.医療保険制度総論を説明する①。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第12回 /	高田 正典	補綴治療 (義歯) の治療の流れの概要を理解する (3)	1.有床義歯のレセプト点検を説明する②。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	

第13回 ／	高田 正典	補綴治療（ブリッジ）の治療の流れの概要を理解する（1）（2）	1.ブリッジの基本定算定を説明する。 2.ブリッジのレセプト点検を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第14回 ／	高田 正典	根管治療の治療の流れの概要を理解する（1）（2）	1.根管治療の基本的概念を説明する。 2..根管のレセプト点検を説明する。
	準備学習	医療事務講座テキスト全ての要点を確認	
第15回 ／	高田 正典	総合学習	医療事務講座テキスト全ての要点を説明する。
	準備学習	全ての要点を確認	

**授業科目名**

ケアコミュニケーション技法Ⅱ

**授業形態**

講義

**授業責任者**

宮崎 晶子

**学年 学期 曜日**

第3学年 前期 水曜日

**授業時間**

9:00～12:00

**授業概要**

2年後学期に学んだケア・コミュニケーションの知識・技術・態度をもとに、病院実習や学外実習で実践した結果、現場でどう評価されているか現場担当者からのフィードバックを分析し、さらに自分自身の課題を克服し、円滑な対人関係を実現する。  
併せてインターネットを活用し、ケア・コミュニケーションIT BOOKにて教科書に記載されている「ケーススタディ」や「演習」といった集合研修向けの学習テーマを自学自習する。学期末のケア・コミュニケーション検定に向けてe-learningを行う。

**一般目標(GIO)**

医療現場における人間関係の感性と能力を磨くために必要な知識・技能・態度を修得する。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生士の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

ケア・コミュニケーションIT BOOK(ウィネット)

**参考書**

歯科スタッフのためのケア・コミュニケーション(ウィネット)

**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験(80%)  提出物(ノート・レポート)(20%)
- ポートフォリオ( ) (%)  成果発表(口頭・実技)( ) (%)
- その他( ) ( ) (%)

サーティファイ コミュニケーション能力検定委員会が行うコミュニケーション検定試験により評価を行う(多肢選択方式)。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。提出物は理解度チェックを行ったノートの提出を評価する。

**オフィスアワー**

月～金曜日・9:00～18:00・3号館2階教授室 ※授業終了後またはメールで連絡でも可(akjc@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 ／	宮崎 晶子	オリエンテーションと復習	1.ケア・コミュニケーションで学んだスキルを説明できる。専門F-1-1)
	準備学習	テキストの要点確認	
第2回 ／	宮崎 晶子	ケーススタディ (1)	1.問題解決のための方法を見つけることができる。専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第3回 ／	宮崎 晶子	ケーススタディ (2)	1.問題解決のための方法を見つけることができる。専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第4回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場のフィードバック	1.ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。専門F-1-1) 2.フィードバックから行動変容を起こすことができる。専門F-1-1)、2)、3) 3.臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第5回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場のフィードバック	1.ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。専門F-1-1) 2.フィードバックから行動変容を起こすことができる。専門F-1-1)、2)、3) 3.臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第6回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場のフィードバック	1.ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。専門F-1-1) 2.フィードバックから行動変容を起こすことができる。専門F-1-1)、2)、3) 3.臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第7回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場のフィードバック	1.ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。専門F-1-1) 2.フィードバックから行動変容を起こすことができる。専門F-1-1)、2)、3) 3.臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第8回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場のフィードバック	1.ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。専門F-1-1) 2.フィードバックから行動変容を起こすことができる。専門F-1-1)、2)、3) 3.臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	

第9回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場の フィードバック	1. ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。 専門F-1-1) 2. フィードバックから行動変容を起こすことができる。 専門F-1-1)、2)、3) 3. 臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。 専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第10回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場の フィードバック	1. ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。 専門F-1-1) 2. フィードバックから行動変容を起こすことができる。 専門F-1-1)、2)、3) 3. 臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。 専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第11回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場の フィードバック	1. ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。 専門F-1-1) 2. フィードバックから行動変容を起こすことができる。 専門F-1-1)、2)、3) 3. 臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。 専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第12回 ／	宮崎 晶子	e-learning と臨床現場の フィードバック	1. ケア・コミュニケーションで学んだスキルを実践する。 専門F-1-1) 2. フィードバックから行動変容を起こすことができる。 専門F-1-1)、2)、3) 3. 臨床現場で問題解決のための方法を見つけることができる。 専門F-2-1)、2)、3)
	準備学習	テキストの要点確認	
第13回 ／	宮崎 晶子	検定手続き 試験対策(1)	1. ケア・コミュニケーションで学んだ知識を確認する。 専門F-1-1)、2)、3)
	準備学習	配布した練習問題を解く。	
第14回 ／	宮崎 晶子	試験対策(2)	1. ケア・コミュニケーションで学んだ知識を確認する。 専門F-1-1)、2)、3)
	準備学習	配布した練習問題を解く。	
第15回 ／	宮崎 晶子	ケア・コミュニケーション 検定	1. ケア・コミュニケーションで学んだ知識を確認する。 専門F-1-1)、2)、3)
	準備学習	配布した練習問題を解く。	

**授業科目名**

歯科衛生研究概論

**授業形態**

講義

**授業責任者**

今井 あかね

**学年 学期 曜日**

第3学年 前期 水曜日

**授業時間**

13:00～14:20 または、14:40～16:00

**授業概要**

歯科衛生士は、歯科保健医療の分野から国民のQOL向上に貢献する責務がある。高齢社会となり訪問口腔衛生指導などを通して、他の医療系職種との連携が求められてくる。予防処置と歯科保健指導の重要性が増す中で、社会の進む方向に自ら同調させるためには、論文から情報を収集し、エビデンスを批判的に吟味し、医療行為に論理的裏づけを行うことが必要である。そこで論文の検索方法、読み方、書き方の概略を修得する。

**一般目標(GIO)**

歯科衛生研究の意義を理解するために、研究テーマの選択方法から成果発表までの一連の流れを身につける。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

特になし

**参考書**

歯科衛生研究の進め方 論文の書き方・第3版・日本歯科衛生学会(医歯薬出版)

**アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験( %)  提出物(ノート・レポート)( 20 %)
- ポートフォリオ( %)  成果発表(口頭・実技)( 60 %)
- その他( 関心・意欲 )( 20 %)

毎回の講義中での文献探し、まとめ、発表会を通して、研究に対する関心・意欲(20%)、発表スライド(20%)およびプレゼンテーション(60%)により評価を行う。

**オフィスアワー**

在室時随時・短期大学教授室 (2号館3階) E-mail: imaiak@ngt.ndu.ac.jp (今井あかね)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 ／	今井 あかね	授業の進め方と研究テーマの探索法 研究方法の種類と論文の構成	1. 授業が円滑に進行するよう努める。 2. 日頃の疑問点や興味ある事柄を自由に述べる。 3. 医療機関等における歯科衛生士の課題を列挙する。基礎B-1-② 4. 研究方法にはどのようなものがあるか述べる。専門基礎D-5-1)-①②、-2)-④ 5. 論文の構成について列挙する。
	準備学習	自己紹介をしてもらうので、特技や趣味、自己アピール点、これまでの学習・実習で疑問に思った点などをまとめる。	
第2回 ／	図書館 (中山楓大)	図書館の利用法	1. インターネットを駆使して文献検索する。 2. 文献を入手するために図書館を利用する。基礎B-3-⑤⑥
	準備学習	学生証、USBメモリと筆記用具を持参する。調べたい事柄のキーワードを5個以上考えてくること。	
第3回 ／	今井 あかね	文献検索 (1)	1. 興味ある論文を検索する。基礎B-3-⑤、専門基礎D-5-7)-② 2. 論文を読んで知見やエビデンスを理解し述べる。専門基礎D-5-1)-①②、-5)～7)
	準備学習	調べたい事柄のキーワードを5個以上考えてくる。PCの基本操作とパワーポイントの操作法を復習しておく。	
第4回 ／	今井 あかね	文献紹介の準備 (1)	1. 文献を読んで理解して内容を列挙する。専門基礎D-5-5)、-6) 2. 文献紹介用の資料を作成できる。基礎B-3-②④、B-4-⑤
	準備学習	紹介する論文を決めて、熟読する。文献紹介のためのパワーポイントと発表原稿を作成する。	
第5回 ／	今井 あかね	文献紹介・ディスカッション (1)	1. 文献の内容を他者に説明する。基礎B-4-① 2. 自分の考えを決められた時間内で述べる。基礎B-4-① 3. 分かり易いように工夫して説明できる。基礎B-4-⑤ 4. 質問に対して的確に応答する。基礎B-4-③ 5. 他者の発表を聞いて理解し、質問する。基礎B-4-②④
	準備学習	論文紹介のためのパワーポイントと発表原稿を完成させる。時間内にスムーズな発表ができるよう練習する。	
第6回 ／	今井 あかね	文献検索 (2)	1. 興味ある論文を検索する。基礎B-3-⑤、専門基礎D-5-7)-② 2. 論文を読んで知見やエビデンスを理解し述べる。専門基礎D-5-1)-①②、-5)～7)
	準備学習	調べたい事柄のキーワードを5個以上考えてくる。PCの基本操作とパワーポイントの操作法を復習しておく。	
第7回 ／	今井 あかね	文献紹介の準備 (2)	1. 文献を読んで理解して内容を列挙する。専門基礎D-5-5)、-6) 2. 文献紹介用の資料を作成できる。基礎B-3-②④、B-4-⑤
	準備学習	紹介する論文を決めて、熟読する。文献紹介のためのパワーポイントと発表原稿を作成する。	

第8回 ／	今井 あかね	文献紹介・ディスカッション (2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の内容を他者に説明する。基礎B-4-①</li> <li>2. 自分の考えを決められた時間内で述べる。基礎B-4-①</li> <li>3. 分かり易いように工夫して説明できる。基礎B-4-⑤</li> <li>4. 質問に対して的確に応答する。基礎B-4-③</li> <li>5. 他者の発表を聞いて理解し、質問する。基礎B-4-②④</li> </ol>
	準備学習	論文紹介のためのパワーポイントと発表原稿を完成させる。時間内にスムーズな発表ができるよう練習する。	
第9回 ／	今井 あかね	文献検索 (3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 興味ある論文を検索する。基礎B-3-⑥、専門基礎D-5-7)-②</li> <li>2. 論文を読んで知見やエビデンスを理解し述べる。専門基礎D-5-1)-①②、-5)～7)</li> </ol>
	準備学習	調べたい事柄のキーワードを5個以上考えてくる。PCの基本操作とパワーポイントの操作法を復習しておく。	
第10回 ／	今井 あかね	文献紹介の準備 (3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論文を読んで理解して内容を列挙する。専門基礎D-5-5)、-6)</li> <li>2. 文献紹介用の資料を作成できる。基礎B-3-②④、B-4-⑤</li> </ol>
	準備学習	紹介する論文を決めて、熟読する。文献紹介のためのパワーポイントと発表原稿を作成する。	
第11回 ／	今井 あかね	文献紹介・ディスカッション (3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献の内容を他者に説明する。基礎B-4-①</li> <li>2. 自分の考えを決められた時間内で述べる。基礎B-4-①</li> <li>3. 分かり易いように工夫して説明できる。基礎B-4-⑤</li> <li>4. 質問に対して的確に応答する。基礎B-4-③</li> <li>5. 他者の発表を聞いて理解し、質問する。基礎B-4-②④</li> </ol>
	準備学習	論文紹介のためのパワーポイントと発表原稿を完成させる。時間内にスムーズな発表ができるよう練習する。	
第12回 ／	今井 あかね	仮想研究テーマの設定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分の課題を見つけることができる。</li> <li>2. 研究における倫理的問題点を述べる。基礎B-1-②</li> <li>3. 研究課題の仮説を列挙する。</li> </ol>
	準備学習	これまで読んできた論文を基に仮想研究の計画と仮説を立案する。	
第13回 ／	今井 あかね	プレゼンテーション資料の作成 プレゼン練習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題解決に結びつく資料と方法を選択する。専門基礎D-5-2)-①②、専門基礎D-5-5)-①、専門基礎D-5-6)-①④⑤</li> <li>2. パソコンを活用して仮想研究のプレゼンテーション資料を作成することができる。基礎B-3-②、B-4-⑤</li> </ol>
	準備学習	模擬研究発表のためのパワーポイントと発表原稿を作成する。	
第14回 ／ 第15回 ／	全教員	模擬研究発表会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 模擬研究の内容を他者に説明する。基礎B-4-①</li> <li>2. 自分の考えを決められた時間内で述べる。基礎B-4-①</li> <li>3. 分かり易いように工夫して説明できる。基礎B-4-⑤</li> <li>4. 質問に対して的確に応答する。基礎B-4-③</li> <li>5. 他者の発表を聞いて理解し、質問する。基礎B-4-④</li> </ol>
	準備学習	模擬研究発表のためのパワーポイントと発表原稿を完成させる。時間内にスムーズな発表ができるよう練習する。	

**授業科目名**

総合講義Ⅲ(専門基礎分野)

**授業形態**

講義

**授業責任者**

土田 智子

**学年 学期 曜日**

第3学年 後期

**授業時間**9:00~10:20 10:40~12:00  
13:00~14:20 14:40~16:00**授業概要**

1~3年前期を修了し、総合試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。

**一般目標(GIO)**

総合試験①・②に合格しうる知識を習得するため、3年間で学んだ内容を統合する。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

各科目 使用教本

**参考書****アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験(100%)  提出物(ノート・レポート)( %)
- ポートフォリオ( % )  成果発表(口頭・実技)( %)
- その他( )( %)

総合試験①②において 平均61点以上の獲得が修了審査の基準となる。

**オフィスアワー**各授業担当者 メールアドレス  
\*事前にmailにて要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 ／	佐藤 義英	生理学・口腔生理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第2回 ／	吉村 建	口腔解剖学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第3回 ／	鴨田 剛司	公衆衛生学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第4回 ／	吉村 建	解剖学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第5回 ／	辻村 麻衣子	組織学・口腔組織学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第6回 ／	小野 幸絵	口腔衛生学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第7回 ／	福井 佳代子	薬理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第8回 ／	東理 頼亮	臨床検査学 病理学・口腔病理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第9回 ／	三上 正人	微生物学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

**授業科目名**

総合講義Ⅳ(専門基礎分野)

**授業形態**

講義

**授業責任者**

土田 智子

**学年 学期 曜日**

第3学年 後期

**授業時間**9:00~10:20, 10:40~12:00  
13:00~14:20, 14:40~16:00**授業概要**

卒業試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。

**一般目標(GIO)**

卒業試験に合格しうる知識を習得するため、3年間で学んだ内容を統合する。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

各科目 使用教本

**参考書****アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験(100%)  提出物(ノート・レポート)( %)
- ポートフォリオ( %)  成果発表(口頭・実技)( %)
- その他( )( %)

3年 卒業試験62点以上 の獲得が合格基準となる。

**オフィスアワー**各授業担当者 メールアドレス  
\*事前にmailにて要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 ／	佐藤 義英	生理学・口腔生理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第2回 ／	吉村 建	口腔解剖学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第3回 ／	鴨田 剛司	公衆衛生学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第4回 ／	吉村 建	解剖学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第5回 ／	辻村 麻衣子	組織学・口腔組織学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第6回 ／	小野 幸絵	口腔衛生学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第7回 ／	福井 佳代子	薬理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第8回 ／	東理 頼亮	臨床検査学 病理学・口腔病理学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第9回 ／	丸山 昂介	微生物学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

**授業科目名**

総合講義Ⅲ(専門分野)

**授業形態**

講義

**授業責任者**

土田 智子

**学年 学期 曜日**

第3学年 後期

**授業時間**9:00~10:20 10:40~12:00  
13:00~14:20 14:40~16:00**授業概要**

1~3年前期を修了し、総合試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。

**一般目標(GIO)**

総合試験①・②に合格しうる知識を習得するため、3年間で学んだ内容を統合する。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

各科目 使用教本

**参考書****アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験(100%)  提出物(ノート・レポート)( %)
- ポートフォリオ( % )  成果発表(口頭・実技)( %)
- その他( )( %)

総合試験Ⅰ・Ⅱにおいて 平均61点以上の獲得が修了審査の基準となる。

**オフィスアワー**各授業担当者 メールアドレス  
\*事前にmailにて要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 ／	加藤 千景	保存修復学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第2回 ／	浅沼 直樹	歯科補綴学 (床義歯学)	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第3回 ／	浅沼 直樹	歯科補綴学 (歯冠架橋義歯学)	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第4回 ／	北澤 裕美	障害者歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第5回 ／	加藤 千景	歯内治療学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第6回 ／	両角 祐子	歯周治療学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第7回 ／	小根山隆浩	口腔外科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第8回 ／	高橋 靖之	歯科麻酔学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第9回 ／	高橋 靖之	高齢者歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第10回 ／	長谷川 優 北澤 裕美	小児歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第11回 ／	長谷川 優	歯科矯正学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第12回 ／	五十嵐健輔	歯科材料学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第13回 ／	諏江美樹子	歯科放射線学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第14回 ／	煤賀 美緒 宮崎 晶子 今井あかね	歯科保健指導論	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第15回 ／	元 井志保 嵐 聖芽 清野可那子	歯科予防処置論	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第16回 ／	榎 志佳	歯科診療補助論	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第17回 ／	池田 裕子 石井 瑞樹	歯科衛生士概論 (医療倫理含む)	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

**授業科目名**

総合講義Ⅳ(専門分野)

**授業形態**

講義

**授業責任者**

土田 智子

**学年 学期 曜日**

第3学年 後期

**授業時間**9:00~10:20, 10:40~12:00  
13:00~14:20, 14:40~16:00**授業概要**

卒業試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。

**一般目標(GIO)**

卒業試験に合格しうる知識を習得するため、3年間で学んだ内容を統合する。

**学習成果(ディプロマ・ポリシー)**

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

**学習成果(カリキュラム・ポリシー)**

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

**教科書**

各科目 使用教本

**参考書****アクティブ・ラーニング(複数選択可)**

- PBL  ディベート  ディスカッション
- フィールドワーク  プレゼンテーション
- その他( )

**成績評価の方法と割合**

- 定期試験(100%)  提出物(ノート・レポート)( %)
- ポートフォリオ( % )  成果発表(口頭・実技)( %)
- その他( )( %)

3年 卒業試験62点以上 の獲得が合格基準となる。

**オフィスアワー**各授業担当者 メールアドレス  
\* 事前にmailにて要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回 ／	加藤 千景	保存修復学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第2回 ／	浅沼直樹	歯科補綴学 (床義歯学)	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第3回 ／	浅沼 直樹	歯科補綴学 (歯冠架橋義歯学)	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第4回 ／	北澤 裕美	障害者歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第5回 ／	加藤 千景	歯内治療学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第6回 ／	両角 祐子	歯周治療学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第7回 ／	小根山隆浩	口腔外科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第8回 ／	高橋 靖之	歯科麻酔学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第9回 ／	高橋 靖之	高齢者歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第10回 ／	長谷川 優 北澤 裕美	小児歯科学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第11回 ／	長谷川 優	歯科矯正学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第12回 ／	五十嵐健輔	歯科材料学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第13回 ／	諏江美樹子	歯科放射線学	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第14回 ／	煤賀 美緒 宮崎 晶子 今井あかね	歯科保健指導論	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	

第15回 ／	元井 志保 嵐 聖芽 清野可那子	歯科予防処置論	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第16回 ／	榎 志佳	歯科診療補助論	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	
第17回 ／	池田 裕子 石井 瑞樹	歯科衛生士概論	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	卒業試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聴講すること。	



